

自主防災 ひろしま

自助

共助 公助

2024年 春・夏
<No.263>

編集・発行
広島市危機管理室
082-504-2664

大雨から命を守るために事前の備えをしましょう！

これから本格的な梅雨の季節です。大雨による災害が起きやすい時期になるため、地域の危険な区域や防災情報の入手方法、避難場所を事前に確認しましょう。

地域の危険な区域を調べましょう！

避難指示などの避難に関する情報は土砂災害警戒区域や浸水想定区域などの危険区域を対象に発令します。危険区域や避難場所を、ハザードマップや「わがまち防災マップ」などで確認しておきましょう。

アプリ
ダウンロード▶



防災情報を入手しましょう！

災害発生時に情報を入手することは被害を抑えたり、避難の判断をする上で大切です。広島市では、ひろしま避難誘導アプリ「避難所へ Go!」や防災情報メール、ホームページ、X・Facebook など様々な媒体で情報発信をしています。

防災情報
メール登録▶

▼ 空メールを送信



「わがまち防災マップ」を活用して地域の危険箇所を再確認

東区福木学区上条地区では、大雨での土砂流出や砂防堰堤の整備状況など、地域の最新の防災情報を確認するための「まち歩き」を行い、地域防災リーダーの越智秀二防災士がアドバイザーをつとめました。

その中で越智氏から「谷底にある巨石（右写真）は、過去の土石流で流出したもので、大雨で住宅地まで流れ落ちる危険がある」などの解説があり、最後に「砂防堰堤が完成したが、これのみでは完全に土石流を止めることはできない。大雨時には、安全な場所への避難が必要」と説明しました。

その後、「まち歩き」での気づきも盛り込み「わがまち防災マップ」を更新し、広島市防災訓練補助金により印刷した上で、地域住民へ配布を行いました。



まち歩きの様子
(巨石の前で説明する越智防災士)

マップの市ホームページへの掲載について

本市では、マップをスマートフォン等でも確認いただけるよう、自主防災会の会長様の同意を得た上で、本市ホームページへ掲載させていただく取組も行っています。

掲載中のマップ



更新後の「わがまち防災マップ」

防災行政無線屋内受信機を無償で貸し出します

今年度から、土砂災害警戒区域等の災害危険区域に居住する一定条件を満たした高齢者世帯に、防災行政無線屋内受信機を無償で貸し出す制度を始めました。

対象

次のすべてに当てはまる世帯（1世帯当たり1台）

- ・土砂災害警戒区域等の災害危険区域に居住し、満65歳以上の方のみの世帯
- ・携帯電話、スマートフォン等を持っていないか、電話以外の操作が不安な世帯

条件

- ・「わが家の避難シート」などの防災行動計画を作成、提出
- ・地域の避難訓練などの防災活動への積極的な参加 など

申請

- ・貸与申請書、わが家の避難シートを災害対策課か各区地域起こし推進課へ提出
- ・申請書類は、災害対策課か地域起こし推進課、公民館等で受領

詳しくは本市HPで

371706



屋内受信機は、広島市が発信する避難情報や緊急地震速報などの防災情報の放送を聞くことができます。



過去の災害を「知る」「学ぶ」

今年で、平成26年8月豪雨災害から10年が経過します。また、広島は、これまでも過去多くの「洪水」「土砂災害」が発生しています。身近な場所で過去に起きた災害を知り、学ぶことは災害を「我がこと」として捉えるためにとても大切です。

本市では、市内にある水害碑をリーフレットにまとめています。ホームページでの公開やリーフレットの配布もしていますので、ご利用ください。



リーフレット(令和6年3月改定)

広島市豪雨災害伝承館

「あのつらい思いを子や孫たち、そしてすべての人々に二度と経験してほしくない。またもし災害が起きても犠牲者が一人も出てほしくない。」施設管理を担う被災者の想いです。

広島市豪雨災害伝承館では、展示や被災者の語り継ぎに加え、毎月様々な研修を実施しています。

研修スケジュールは、右のQRコード等からご覧ください。

伝承館HP



避難所の環境・機能を紹介します！

1月に発生した能登半島地震では、被災された多くの方々が、避難所での長期間の生活を余儀なくされました。また、衛生環境や災害関連死も大きな課題となっています。このページでは、広島市の避難所の環境や機能等を紹介します。

避難所のことを正しく知り、災害時にはためらわずに避難しましょう。

避難場所への資機材の配備

広島市では、これまでも感染症対策としてテントなどを、また、ご高齢の方が避難した際の身体的負担を軽減するためのエアベッドを配備することにより、避難場所の環境改善を図ってきました。

今年度は、こうした資機材に加えて、新たに災害情報を収集するための Wi-Fi ルーターや車いす対応型の組立式仮設トイレ、扇風機、電源確保のためのポータブル電源を新たに配備していきます。

避難された方が安心して避難場所に滞在していただけるよう環境改善に取り組んでいます。



車いす対応型の組立式仮設トイレ(イメージ)
出展：マンホールトイレ整備・運用のためのガイドライン

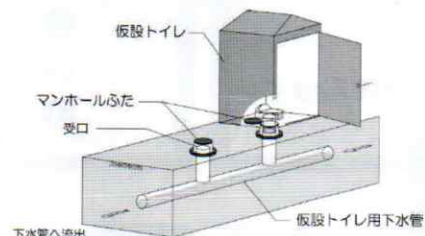
避難所のマンホールトイレ

広島市では、避難者に衛生的な環境を提供するため、マンホールトイレを整備しています。マンホールトイレは、簡易トイレに比べ、日常使用している水洗トイレの環境に近く、実際に、東日本大震災や熊本地震では安心して使用することができたという被災者の声もあります。

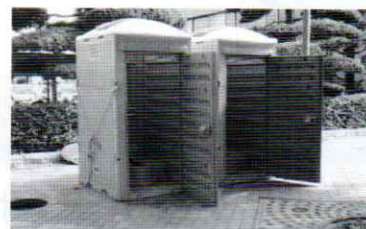
大規模災害時には、広島市と協定を締結している仮設トイレのレンタル業者が、マンホールトイレ上部ユニットの確保や設置を行います。

詳しくは本市HPで

2800



マンホールトイレ構造図 (イメージ)



仮設トイレ設置状況 (災害時)

避難所運営訓練を実施しましょう

災害時に避難所の資機材を適切に使用するには、平時から避難所の状況を把握しておくことが大切です。避難所運営訓練を積極的に実施しましょう。

訓練のアドバイスを受けたい方は・・・

広島県では、避難所の開設・運営訓練を実施するための企画・実施等を支援する人材を「広島県避難所開設・運営訓練アドバイザー」として育成しています。

支援を受けたい方は広島県HPをご覧ください。

広島県HP



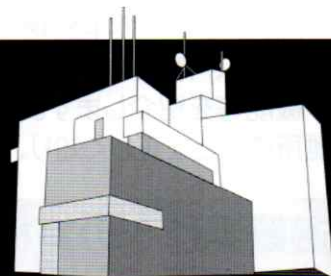
避難所運営訓練での指導の様子
(食事・物干しコーナーなどを再現)

災害のおそろしさを実際に体験すると、
あなたの防災に対する危機感が変わるかもしれません

消防局からのお知らせ

広島市総合防災センターで

体験学習 をしてみませんか？



みんなへ

オススメ



防災訓練をしてみたいけど、いきなり自分たちだけで訓練をするのは不安

防災意識を持ってもらうきっかけに、研修の時に防災物品を配布したい

1日で豪雨災害伝承館と防災センターの両方を利用したい

防災センター研修なら、準備物不要！
気軽に防災知識を学ぶことができます

補助金で防災物品（非常食、ライトなど）
を購入できる場合があります！

両施設を1日で利用できるプランを計画
できます（各区1回、先着順）！

なにが体験できるの？

地震

大地震の揺れ が体験できます

降雨

激しい降雨 が体験できます

避難

濃煙での避難 が体験できます

消火

実際の消火 が体験できます

いつ利用できるの？

開館時間は 午前9時から午後5時まで です

平日
土曜

いつでも

ご利用いただけます
（他の予約がない場合）

日曜

3日間のみ

ご利用いただけます

利用可能日

申込締切日

①	7月21日	◀	6月21日(金)
②	11月3日	◀	10月4日(金)
③	2月2日	◀	1月10日(金)

利用までの流れは？

確認

防災センターの予約状況を
担当する消防署所に確認

相談

人数や日程、研修内容などを
地域の自主防災組織を中心に相談

連絡

地域で相談して決めた内容を
担当する消防署所に連絡

受講

防災センター研修を受講

なにか支援はあるの？

ご利用人数が多い場合は移動手段を支援します

10人
以上

マイクロバス

を手配します

22人
以上

大型バス

を手配します

特典

高齢者いきいき活動ポイント

対象事業です（1ポイント付与）

問合せ先

防災センター研修に関すること

研修内容の調整や防災センター研修の予約に係る手続等については、最寄りの消防署所にご相談ください。

訓練補助金に関すること

補助金の対象となる物品や補助金申請に係る事務手続等については、各区地域起こし推進課にご相談ください。